

『自分の夢』

七浦小学校 6年 平田 皓大

ぼくの夢は、お父さんの後をつぎ、牛飼いの会社の社長になることです。ぼくは小さいころからずっと、お父さんの仕事を近くで見してきました。お父さんが働く姿を見て、その一生けん命さと、かっこよさにひかれ、お父さんにあこがれました。そして、ぼくも、将来、お父さんのような牛飼いになりたい、という夢をもつようになりました。でも、お父さんが言うには、

「勉強をがんばらないと、牛飼いの社長にはなれないぞ。」

とのことでした。そう言われた時、ぼくはとてもドキッとして、

(やばい。もっと勉強をがんばらなきゃ。)

と、とてもあせりました。それから、今では、けっこう勉強をがんばっています。でも、牛飼いになるためには、勉強だけではだめだということにも気づきました。それは力や体力も必要だと思ったからです。

そこでぼくはまわりの人のすすめもあり、柔道を始めることにしました。柔道を始めてから、少しずつ力が強くなり、体力もついてきました。今はまだ、いい成績を残すことはできていませんが、将来につながるならそれでいいと思い、練習をがんばっています。

また、少し気が早いですが、高校のことも気になったので、お父さんに、

「畜産とか学べる高校はないの？」

と聞いてみました。お父さんから、

「自分で調べてみたら？」

と言われたので、調べてみると、鹿児島県立鹿屋農業高校という高校の情報が見つかりました。ぼくはその高校に入りたいと思っています。そのためには、まず、中学校で勉強や柔道をどれだけがんばれるか、ということが大事です。

中学校、その先の高校、そしてお父さんのような牛飼いになるという夢に向かって、今できることをコツコツがんばっていきます。そして、必ず自分の夢をかなえてみせます。